

令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画（案）

資料3-3

令和3年4月1日現在

事業の内容		実施目標年度	令和2年度実施内容	令和3年度の予定	
人 に や さ し い 全 な 交 通	1 既存路線の維持と国の事業の積極的な活用（町・地域公共交通会議・交通事業者）				
	(1)	既存路線の継続運行	国のスケジュールに合わせて申請等	継続運行に努めた。	今後も継続運行に努める。
	(2)	地域公共交通確保維持改善事業の活用	国のスケジュールに合わせて申請等	タウンバス南ルートにおいて活用。	タウンバス南ルート及びあおい交通「幸田・勝川線」において活用。
	2 地域公共交通会議の開催（町・地域公共交通会議）				
	(1)	地域公共交通会議の開催	毎年度	年3回開催した。（うち1回は書面開催）	年3回程度開催予定。
	3 バスの待合環境の整備（町・施設管理者・交通事業者）				
	(1)	乗り換え拠点の整備	検討・協議 令和2年度～4年度 実施 令和5年度～	豊山町社会教育センターバス停を乗り換え拠点とするため、離れたところにあったタウンバスのバス停を名鉄のバス停と同じ場所に移設することにより、利便性の向上を図った。 小牧市コミュニティバス「こまくる」の青山高添バス停へ乗入れが令和2年12月から開始された。	令和3年7月から北名古屋市の「きたバス」の青山高添バス停への乗入れが開始される予定である。 豊山町社会教育センターバス停を乗り換え拠点とするため、待合機能強化策について検討する。
	(2)	バス待合施設として公共施設の有効活用	検討・協議 令和2年度～4年度 実施 令和5年度～	小牧市が実施した小牧市民病院のバスモニターの整備に合わせて、乗入れをしている北ルートの運行情報を表示できるように、バスロケーションシステムの整備を行った。	社会教育センターの待合機能強化のため、バス接近情報などを知らせるモニターの設置等に向けて、検討を行う。
	4 高齢者等の移動範囲の拡大（町・交通事業者・福祉団体）				
	(1)	多様な交通サービスとの連携や新たな交通サービスの導入	検討・協議 令和2年度～4年度 実施 令和5年度～	県内における自動運転の実証事業について、情報収集を行った。	継続して新たな交通サービスの導入に向けて継続して検討を行う。
(2)	高齢者割引制度の導入	検討・協議 令和2年度～3年度 実施 令和4年度～	県内における高齢者割引制度等の導入状況について情報収集、研究を行った。	とよやまタウンバスにおいて、関係部署と連携し、試行的に高齢者割引を実施する。	
(3)	「タクシー利用料金補助事業」の継続実施	継続して実施	介護を必要とする高齢者の通院、買物、娯楽等の利便を図るため、要介護認定又は要支援認定を受けているものに対するタクシー利用券を交付した。	継続して実施する。	
(4)	「運転免許自主返納事業」の継続実施	随時実施	運転免許証を自主返納した高齢者に対し、とよやまタウンバス回数券または町発行のタクシー利用券を交付し、移動の支援を行った。	継続して実施する。	

令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画（案）

資料3-3

令和3年4月1日現在

事業の内容		実施目標年度	令和2年度実施内容	令和3年度の予定	
ま ち の 機 能 や 魅 力 を 高 め る 利 便 性 の 高 い 交 通	5 バスの利便性の向上（町・交通事業者・地域住民）				
	(1)	とよやまタウンバスの改善	随時実施	令和3年4月からのタウンバスルート見直しにより、新栄小学校バス停を新設するとともに、豊山町社会教育センターバス停を名鉄のバス停と同じ場所に移設し、利便性の向上を図った。	系統番号について、交通事業者と検討を行う。また、利用者ニーズに対応した改善や見直しを随時検討する。
	(2)	とよやまタウンバスの車両更新	実施 令和2年度～4年度	南ルートで運行している2台のうち1台の車両更新を行った。	南ルートで運行しているもう1台の車両更新を行う。（令和3年5月22日から運行開始）
	(3)	Google Map等の検索サービスへの対応（GTFS整備）	随時実施	令和3年4月からダイヤ改正に合わせ、各種検索サービスへの時刻データの提供を行った。	ダイヤ改正に合わせ、適宜データ整備を行う。
	6 利用しやすい運賃体系の構築（町・交通事業者）				
	(1)	わかりやすい運賃体系への見直し	検討・協議 令和2年度～4年度 実施 令和5年度～	引き続き、バス事業者と情報収取・検討を行い、長期的な視点で取り組んだ。	引き続き、バス事業者と情報収取・検討を行い、長期的な視点で取り組む。
	(2)	新たな運賃支払い方法の導入	検討・協議 令和2年度～3年度 実施 令和4年度～	とよやまタウンバスにおいて、令和2年8月から、キャッシュレス決済の新たな取り組みとして、「pay pay」の導入を開始した。	交通系ICカードや電子マネー、QR決済等の新たな運賃支払い方法の導入について、引き続き検討を行う。
	7 近隣市町のバス路線との連携（町・近隣自治体・交通事業者）				
	(1)	名古屋市営バスの県営名古屋空港までの延伸	継続して要請	地域公共交通会議において、県の進める基幹的防災拠点について、平時には公園やスポーツ施設を利用する多くの県民・町民が訪れることから、名古屋市営バスの延伸はもとより、他の交通事業者への参入も検討頂きたい旨要望した。	北部市場まで乗り入れている名古屋市営バスの延伸について、今後も状況に応じて名古屋市に要請を続け、延伸の実現に取り組む。
	(2)	きたバス（北名古屋市）、こまき巡回バス（小牧市）、かすがいシティバス（春日井市）との連携	検討・協議 令和2年度～4年度 実施 令和5年度～	小牧市コミュニティバス「こまくる」の青山高添バス停へ乗入れが令和2年12月から開始された。併せて役場内で「こまくる」の時刻表の配架を行った。	令和3年7月から北名古屋市の「きたバス」の青山高添バス停への乗り入れが開始される予定である。町ホームページに豊山町発着のバス路線と接続する「きたバス」、「こまくる」のリンクを掲載し、引き続き情報提供を行う。

令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画（案）

資料3-3

令和3年4月1日現在

事業の内容		実施目標年度	令和2年度実施内容	令和3年度の予定	
環 境 に や さ し い 交 通	8 自動車に過度に依存しない交通行動の促進（町・交通事業者・地域住民）				
	(1)	豊山町公共交通マップの作成・配布	随時実施	各バス事業者のダイヤ改正に合わせ、10月末及び3月末の2回作成をし、配布を行った。	今年度も継続して各バス事業者のダイヤ改正に合わせ、10月末及び3月末の2回作成・配布予定である。また、公共施設などサイクル&バスライド駐輪場のあるバス停には、駐輪場マークの追加を検討する。
	(2)	出前講座や利用促進イベントの実施	随時実施	教育委員会が所管する「出前講座」のメニューに登録し、高齢者や主婦、子ども、地域団体など各種団体に対し、乗り方教室（出前講座）の開催について周知を行ったが、要望がなく開催実績はない。	引き続き教育委員会所管の「出前講座」のメニューに登録するとともに各種団体に対し、周知を行う。
	(3)	交通行動の変容を促すモビリティ・マネジメントの実施	随時実施	名古屋大学と連携し、豊山中学校の生徒とその親を対象に、おでかけに関するアンケート調査を実施した。	引き続き交通行動の変容を促すモビリティ・マネジメントの実施に向けて検討を進める。
(4)	公共交通のPR	随時実施	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、豊山町の公共交通崩壊を食い止める緊急アピールを宣言した。また、町内を走るバスの新型コロナウイルス対策について、名鉄バス、あおい交通の協力のもと、とよやまチャンネルで放送を行った。	引き続き、とよやまタウンバスの車内WiFiやバスロケーションシステムなどのサービスについて、住民への周知を強化して取り組む。町ホームページで継続して情報提供を行うとともに「広報とよやま」において、周知の強化に取り組む。	
9 自転車・徒歩で移動できる交通環境の整備（町・道路管理者）					
(1)	安全で魅力的な自転車・歩行空間の整備	随時実施	自転車乗車中の交通事故による被害の軽減を図るため、高齢者及び中学生以下の子どもを対象に自転車用ヘルメットの購入費用の補助を行った。	ヘルメット購入費用の補助対象を高校生以下に拡充する。引き続き、バスの乗り降りがしやすいよう、バス停周辺の歩道の整備を行う。また、自転車と公共交通の共存のために、出前講座や利用促進イベントなどで自転車マナーの啓発活動に取り組む。	
(2)	サイクル&バスライドの推進	検討・協議 令和2年度～3年度 実施 令和4年度～	駐輪場の設置については、長期的な課題として情報収集・検討を行った。	乗り換え拠点として整備する社会教育センターをはじめ、その他の公共施設をバス待合施設として活用やサイクル&バスライド拠点として具体的な場所等を検討する。	